

令和元年度

むつ市水道事業会計決算審査意見書

むつ市監査委員



む 監 査 第 4 4 号

令和 2 年 8 月 1 1 日

むつ市長 宮 下 宗 一 郎 様

むつ市監査委員 齊 藤 秀 人

むつ市監査委員 佐々木 肇

令和元年度むつ市水道事業会計決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、審査に付された令和元年度むつ市水道事業会計の決算について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。



# 目 次

## むつ市水道事業会計決算審査意見書

1	審 査 の 対 象	1
2	審 査 の 期 間	1
3	審 査 の 方 法	1
4	審 査 の 結 果	1
5	審 査 意 見	2

## むつ市水道事業会計決算審査概要

1	予 算 執 行 状 況	3
2	経 営 状 況	6
3	建設改良費の概要	11
4	財 政 状 態	12

\* \* \* \* \*

資 料 の 部

## 凡 例

1. 金額は、原則として円単位とし、円未満の端数は四捨五入した。
2. 比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入した。
3. 構成比率は、合計が100.0となるよう一部調整した。
4. 各表中の符合の用法は、次のとおりである。

「△」…………… 負数

「0.0」…………… 該当数値があるが、表示単位未満のもの（零を含む。）

「－」…………… 該当数値のないもの、算出不能のもの

# 令和元年度むつ市水道事業会計決算審査意見書

## 1 審査の対象

令和元年度むつ市水道事業会計決算

## 2 審査の期間

令和2年6月5日から令和2年8月7日まで

## 3 審査の方法

審査に当たっては、「むつ市監査基準」に準拠し、水道事業の経営が経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に努めているかに主眼をおき、提出された決算報告書、財務諸表及びその他の付属書類が、地方公営企業法及びその他の関係法令に準拠して適切に処理されているか調査し、併せて、事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかについて審査した。

## 4 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表及びその他の付属書類は、地方公営企業法及びその他の関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。

## 5 審査意見

令和元年度水道事業会計決算は、収益的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、水道事業収益は1,769,810,203円、水道事業費用は1,583,562,019円となっている。

税抜き決算額では、水道事業収益は1,651,639,311円で、平成30年度と比較して8,611,987円(0.5%)、水道事業費用は1,520,095,648円で、平成30年度と比較して29,519,724円(1.9%)の減少となっている。

この結果、純利益は131,543,663円で、平成30年度より20,907,737円(18.9%)の増加となっている。

経営の概況については、水道事業収益において、給水収益が2,356,514円(0.2%)増加しているが、負担金が7,139,000円(13.1%)、長期前受金戻入が6,420,482円(2.4%)減少している。

水道事業費用では、物件費が14,636,787円(4.5%)、減価償却費が7,143,487円(1.0%)増加しているが、人件費が25,971,200円(13.7%)、動力費が4,339,994円(7.4%)、その他の営業費用が4,006,785円(19.5%)、企業債利息が14,835,181円(6.9%)減少している。

次に、業務の概況については、料金徴収の対象となった水量を示す年間有収水量が5,347,978 m<sup>3</sup>で、平成30年度と比較して24,278 m<sup>3</sup>(0.5%)の減少、年間給水量に対する年間有収水量の割合を示す有収率が78.2%で、平成30年度と比較して0.6ポイントの減少となっている。

資本的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、資本的収入は720,007,300円、資本的支出は1,410,534,354円となっている。

建設改良工事の概況については、平成30年度に引き続き、水道施設の耐震性の向上と旧簡易水道施設を上水道に統合する水道管路緊急改善事業及び水道施設整備事業の実施により、ポンプ場及び配水場の築造工事、配水管の布設工事等を行ったほか、中央監視装置電気設備等の更新工事を行い、安全安心な生活を支えるライフラインを維持するため、計画的な整備に努めている。

今後においても、給水人口の減少等による給水収益の減収や、水道設備等の更新の費用が見込まれ、経営面への影響が懸念されるが、施設の適切な維持管理と効果的な投資を図りながら、効率的経営による更なる収益の確保に努め、安全で安定した水道サービスが持続されることを望む。



# 令和元年度むつ市水道事業会計決算審査概要

## 1 予算執行状況

### (1) 収益的収入及び支出

#### 収 入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予 算 額 対 する 決 算 額 の 増 減 額	執 行 率	
水 道 事 業 収 益	1,758,255,000	1,769,810,203	11,555,203	100.7	
内 訳	営 業 収 益	1,448,553,000	1,459,982,339	11,429,339	100.8
	営 業 外 収 益	305,633,000	305,758,268	125,268	100.0
	特 別 利 益	4,069,000	4,069,596	596	100.0

#### 支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執 行 率	
水 道 事 業 費 用	1,629,826,000	1,583,562,019	46,263,981	97.2	
内 訳	営 業 費 用	1,385,891,000	1,348,199,682	37,691,318	97.3
	営 業 外 費 用	242,435,000	235,357,415	7,077,585	97.1
	特 別 損 失	1,500,000	4,922	1,495,078	0.3

収益的収入の決算額は1,769,810,203円で、予算額に対する執行率は100.7%となっている。

このうち、営業収益は1,459,982,339円で執行率100.8%、営業外収益は305,758,268円で執行率100.0%、特別利益は4,069,596円で執行率100.0%である。

収益的支出の決算額は1,583,562,019円で、予算額に対する執行率は97.2%となっている。

このうち、営業費用は1,348,199,682円で執行率97.3%、営業外費用は235,357,415円で執行率が97.1%、特別損失は4,922円で執行率0.3%である。

## (2) 資本的収入及び支出

### 収 入

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に対する 決算額の増減額	執 行 率	
資 本 的 収 入	729,584,000	720,007,300	△ 9,576,700	98.7	
内 訳	企 業 債	566,200,000	556,700,000	△ 9,500,000	98.3
	一般会計負担金	151,043,000	150,965,000	△ 78,000	99.9
	国庫補助金	8,213,000	8,213,000	0	100.0
	そ の 他 資 本 的 収 入	3,985,000	3,985,750	750	100.0
	固定資産売却代金	143,000	143,550	550	100.4

### 支 出

(単位：円、%)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率	
資 本 的 支 出	1,478,640,478	1,410,534,354	19,214,798	48,891,326	95.4	
内 訳	建 設 改 良 費	771,504,478	703,399,188	19,214,798	48,890,492	91.2
	企業債償還金	707,136,000	707,135,166	0	834	100.0

資本的収入の決算額は720,007,300円で、予算額に対する執行率は98.7%となっている。

このうち、企業債は556,700,000円で、その内訳は、水道管路緊急改善事業に係る分81,000,000円、水道施設整備事業に係る分351,700,000円及びその他建設改良費に係る分124,000,000円である。

一般会計負担金150,965,000円は、消火栓新設工事費1,202,000円、統合水道等に要する経費としての企業債償還金149,763,000円にそれぞれ充当している。

国庫補助金8,213,000円は、水道管路緊急改善事業に充当している。

その他資本的収入3,985,750円は、上下水道料金システム購入等に係る下水道事業負担金に充当している。

一方、資本的支出の決算額は1,410,534,354円で、予算額に対する執行率は95.4%となっている。

このうち、建設改良費は703,399,188円で、その内訳は、水道管路緊急改善事業費101,345,676円、水道施設整備事業費363,453,004円、配水管整備事業費20,894,487円、その他の建設改良費149,301,900円のほか、営業設備費として68,404,121円を支

出している。

企業債償還金は 707,135,166 円で、企業債の元金償還に支出したものである。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額 690,527,054 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 53,798,258 円、減債積立金 110,635,926 円及び過年度分損益勘定留保資金 526,092,870 円で補填している。

(注) 「(1)収益的収入及び支出」及び「(2)資本的収入及び支出」の決算額は、消費税込みの額である。

## 2 経営状況

### (1) 経営成績

水道事業収益	1,651,639,311円
水道事業費用	1,520,095,648円
差引額	131,543,663円

令和元年度の経営成績は、131,543,663円の純利益を生じた決算となっている。これを、平成30年度と比較すると20,907,737円(18.9%)の増加となっている。経営成績の推移は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令 和 元 年 度	平 成 3 0 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
水道事業収益	1,651,639,311	1,660,251,298	△8,611,987	△0.5
水道事業費用	1,520,095,648	1,549,615,372	△29,519,724	△1.9
差引額	131,543,663	110,635,926	20,907,737	18.9

#### ① 水道事業収益

水道事業収益は1,651,639,311円で、平成30年度と比較して8,611,987円(0.5%)の減少となっている。

#### ア 営業収益

営業収益は1,341,877,794円で、平成30年度と比較して2,076,100円(0.2%)の増加である。

これは主に、給水収益が2,356,514円(0.2%)増加したことによるものである。

#### イ 営業外収益

営業外収益は305,705,871円で、平成30年度と比較して13,141,957円(4.1%)の減少である。

これは主に、負担金が7,139,000円(13.1%)、長期前受金戻入が6,420,482円(2.4%)減少したことによるものである。

#### ウ 特別利益

特別利益は4,055,646円で、平成30年度と比較して2,453,870円(153.2%)の増加である。

これは、固定資産税売却益が139,500円(皆増)及び長期前受金戻入過年度分収益化額が2,314,370円(144.5%)増加したことによるものである。

## ② 水道事業費用

水道事業費用は 1,520,095,648 円で、平成 30 年度と比較して 29,519,724 円 (1.9%) の減少となっている。

### ア 営業費用

営業費用は 1,312,997,236 円で、平成 30 年度と比較して 12,643,185 円 (1.0%) の減少となっている。

これは主に、物件費が 14,636,787 円 (4.5%)、減価償却費が 7,143,487 円 (1.0%) 増加したものの、人件費が職員の異動等により 25,971,200 円 (13.7%)、動力費が 4,339,994 円 (7.4%) その他の営業費用が 4,006,785 円 (19.5%) 減少したことによるものである。

### イ 営業外費用

営業外費用は 207,093,853 円で、平成 30 年度と比較して 16,817,755 円 (7.5%) の減少となっている。

減少となったものは、企業債利息 14,835,181 円 (6.9%)、雑支出 1,982,574 円 (22.0%) である。

### ウ 特別損失

特別損失は 4,559 円で、平成 30 年度と比較して 58,784 円 (92.8%) の減少となっている。

これは、全額過年度損益修正損である。

## (2) 業務実績

### ① 給水の状況

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	増 減 率
給水区域内人口 A (人)	56,105	57,044	△ 939	△ 1.6
給水人口 B (人)	52,203	53,142	△ 939	△ 1.8
給水戸数 (戸)	24,540	24,538	2	0.0
普及率 $B / A \times 100$ (%)	93.1	93.2	△ 0.1	—
年間給水量 C (m <sup>3</sup> )	6,842,237	6,813,438	28,799	0.4
1人1日平均給水量 (L)	358	351	7	2.0
年間有収水量 D (m <sup>3</sup> )	5,347,978	5,372,256	△ 24,278	△ 0.5
有収率 $D / C \times 100$ (%)	78.2	78.8	△ 0.6	—

給水人口は 52,203 人、給水戸数は 24,540 戸で、平成 30 年度と比較して、給水人口が 939 人 (1.8%) 減少、給水戸数が 2 戸 (0.0%) 増加となっている。

給水区域内人口 56,105 人に対して、93.1% の普及率であり、平成 30 年度と比較して 0.1 ポイントの減少となっている。

年間給水量は 6,842,237 m<sup>3</sup> で、平成 30 年度と比較して 28,799 m<sup>3</sup> (0.4%) の増加となっている。

年間有収水量は 5,347,978 m<sup>3</sup> で、平成 30 年度と比較して 24,278 m<sup>3</sup> (0.5%) の減少となっている。

また、有収率 (年間給水量に対する年間有収水量の割合) は 78.2% で、平成 30 年度より 0.6 ポイントの減少となっている。

一方、給水人口 1 人 1 日当たり給水量は 358 L で、平成 30 年度と比較して 7 L (2.0%) の増加となっている。

## ② 施設の利用状況

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	増 減 率
1 日 給 水 能 力 (A)	24,816	24,816	0	0.0
1 日 平 均 給 水 量 (B)	18,695	18,666	29	0.2
1 日 最 大 給 水 量 (C)	22,805	23,144	△ 339	△ 1.5
施 設 利 用 率 (B/A)	75.3	75.2	0.1	—
最 大 稼 働 率 (C/A)	91.9	93.3	△ 1.4	—
負 荷 率 (B/C)	82.0	80.7	1.3	—

1日給水能力は24,816 m<sup>3</sup>で、これに対して1日平均給水量は18,695 m<sup>3</sup>となっている。

施設利用率は75.3%で、平成30年度と比較して0.1ポイントの増加となっている。

また、1日最大給水量は22,805 m<sup>3</sup>で、平成30年度と比較して339 m<sup>3</sup> (1.5%)の減少、最大稼働率は91.9%で、平成30年度と比較して1.4ポイントの減少となっている。

### ③ 料金及び原価等について

#### 1戸当たり平均給水量及び平均水道料金

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	増減率
1戸当たり平均給水量	217.9m <sup>3</sup>	218.9m <sup>3</sup>	△1.0m <sup>3</sup>	△0.5
1戸当たり平均水道料金	54,407円	54,316円	91円	0.2

#### 【算式】

$$1 \text{ 戸 当 たり 平 均 給 水 量 } = \frac{\text{年 間 有 収 水 量}}{\text{給 水 戸 数}}$$

$$1 \text{ 戸 当 たり 平 均 水 道 料 金 } = \frac{\text{給 水 収 益}}{\text{給 水 戸 数}}$$

#### 供給単価及び給水原価の状況

区 分	令和元年度	平成30年度	増 減	増減率
1 m <sup>3</sup> 当 たり の 供 給 単 価	249円66銭	248円09銭	1円57銭	0.6
1 m <sup>3</sup> 当 たり の 給 水 原 価	236円07銭	239円30銭	△3円23銭	△1.3
差 引	13円59銭	8円79銭	4円80銭	—

#### 【算式】

$$\text{供給単価} = \frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年 間 有 収 水 量}}$$

$$\text{給水原価} = \frac{\text{経常費用}(\ast) - \left( \begin{array}{c} \text{受 託 材 料 附 帯} \\ \text{+} \\ \text{工 事 費 売 却 原 価 工 事 費} \end{array} \right)}{\text{年 間 有 収 水 量}}$$

(※算出に当たっては、経常費用のうち減価償却費から長期前受金戻入見合いの分を除く。)

1戸当たりの平均給水量は217.9 m<sup>3</sup>で、平成30年度と比較して1.0 m<sup>3</sup> (0.5%) の減少となっている。

平均水道料金は、54,407円で、平成30年度と比較して91円 (0.2%) の増加となっている。

また、1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価249円66銭に対し、1 m<sup>3</sup>当たりの給水原価は236円07銭となっており、その差額は13円59銭となっている。



### 3 建設改良費の概要

工 事 名 等	施 工 内 容	工 事 費 ( 円 )
水道管路緊急改善事業	○ 工事費 ○ 事務費	101,345,676
水道施設整備事業	○ 工事費 ○ 設計、調査費等 ○ 用地買収費	363,453,004
配水管整備事業	○ 配水管布設工事費 ○ 消火栓設置工事費 ○ 設計、調査費等	20,894,487
その他建設改良費	○ 水源施設改良費 ○ その他建設改良費 ○ 設計、調査費等	149,301,900
営業設備費	○ 量水器費 ○ 機械器具購入費 ○ 車輛購入費	68,404,121
建 設 改 良 費	計	703,399,188

(注) 消費税込みの額である。

建設改良費では、水道管路緊急改善事業費 101,345,676 円、水道施設整備事業費 363,453,004 円、配水管整備事業費 20,894,487 円、その他建設改良費 149,301,900 円及び営業設備費 68,404,121 円の事業を実施している。

建設改良費全体では 703,399,188 円で、平成 30 年度と比較して 52,153,765 円 (8.0%) の増加となっている。

増加となった主なものは、その他建設改良費 136,542,100 円 (1,070.1%)、水道施設整備事業費 311,185,324 円 (595.4%) である。

一方、減少となった主なものは、上水道整備事業費 364,650,120 円 (皆減)、配水管整備事業費 50,069,505 円 (70.6%) である。

## 4 財政状態

資産、負債及び資本の状況は、次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分	令 和 元 年 度	平 成 3 0 年 度	前 年 度 比 較	
			金 額	増 減 率
資 産	19,637,933,802	19,766,540,849	△ 128,607,047	△ 0.7
負 債	16,014,276,728	16,274,427,438	△ 260,150,710	△ 1.6
資 本	3,623,657,074	3,492,113,411	131,543,663	3.8

### (1) 資 産

資産の期末現在高は 19,637,933,802 円で、平成 30 年度と比較して 128,607,047 円 (0.7%) の減少となっている。

その内訳は、固定資産が 18,378,808,697 円 (資産に対する構成割合 93.6%)、流動資産が 1,259,125,105 円 (同割合 6.4%) である。

#### ① 固定資産

固定資産は、平成 30 年度と比較して 91,018,573 円 (0.5%) の減少となっている。

これは主に、機械及び装置 34,822,821 円、工具・器具・備品 42,694,705 円、建設仮勘定 204,642,886 円が増加したものの、建物 42,670,848 円、構築物 327,805,284 円等が減少したことによるものである。

#### ② 流動資産

流動資産は、平成 30 年度と比較して 37,588,474 円 (2.9%) の減少となっている。

これは、現金預金 7,741,471 円、貯蔵品 1,999,478 円が増加したものの、未収金 46,591,169 円、貸倒引当金 738,254 円が減少したことによるものである。

### (2) 負 債

負債の期末現在高は 16,014,276,728 円で、平成 30 年度と比較して 260,150,710 円 (1.6%) の減少となっている。

その内訳は、固定負債 11,792,427,330 円 (負債資本に対する構成割合 60.0%)、流動負債 787,910,380 円 (同割合 4.0%) 及び繰延収益 3,433,939,018 円 (同割合 17.5%) である。

### ① 固定負債

固定負債は、全額、企業債であり、平成30年度と比較して190,128,697円(1.6%)の減少となっている。

### ② 流動負債

流動負債は、平成30年度と比較して19,585,589円(2.5%)の増加となっている。

これは主に、未払い消費税及び地方消費税13,791,800円(皆減)、預り金9,584,591円(91.9%)、引当金1,632,850円(11.5%)等が減少したものの、企業債39,693,531円(5.6%)、未払金4,902,195円(21.5%)が増加したことによるものである。

### ③ 繰延収益

繰延収益は、平成30年度と比較して89,607,602円(2.5%)の減少となっている。

## (3) 資本

資本の期末現在高は3,623,657,074円で、平成30年度と比較して131,543,663円(3.8%)の増加となっている。

その内訳は、資本金が2,708,122,491円(負債資本に対する構成割合13.8%)及び剰余金が915,534,583円(同割合4.7%)である。

### ① 資本金

資本金は、平成30年度と比較して123,107,016円(4.8%)の増加となっている。

これは、全額、自己資本金が増加したことによるものである。

### ② 剰余金

剰余金は、平成30年度と比較して8,436,647円(0.9%)の増加となっている。

これは、全額、利益剰余金が増加したことによるものである。



# 資料目次

資料 1	收益的収支比較表 .....	1
資料 2	貸借対照表比較表 .....	2



# 資料 1

## 水道事業会計収益的収支比較表

(単位：円、%)

科 目		令和元年度		平成30年度		比 較	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
収 入	1 営業収益 a	1,341,877,794	81.3	1,339,801,694	80.7	2,076,100	0.2
	給水収益	1,335,155,187	80.9	1,332,798,673	80.3	2,356,514	0.2
	受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	—
	その他営業収益	6,722,607	0.4	7,003,021	0.4	△ 280,414	△ 4.0
	2 営業外収益	305,705,871	18.5	318,847,828	19.2	△ 13,141,957	△ 4.1
	受取利息	91,720	0.0	98,840	0.0	△ 7,120	△ 7.2
	補助金	0	0.0	0	0.0	0	—
	負担金	47,496,000	2.9	54,635,000	3.3	△ 7,139,000	△ 13.1
	長期前受金戻入	257,569,456	15.6	263,989,938	15.9	△ 6,420,482	△ 2.4
	雑収益	548,695	0.0	124,050	0.0	424,645	342.3
3 特別利益	4,055,646	0.2	1,601,776	0.1	2,453,870	153.2	
固定資産売却益	139,500	0.0	0	0.0	139,500	皆増	
その他特別利益	3,916,146	0.2	1,601,776	0.1	2,314,370	144.5	
収入計 (A)	1,651,639,311	100.0	1,660,251,298	100.0	△ 8,611,987	△ 0.5	
支 出	1 営業費用	1,312,997,236	86.3	1,325,640,421	85.5	△ 12,643,185	△ 1.0
	人件費	163,680,568	10.7	189,651,768	12.3	△ 25,971,200	△ 13.7
	物件費	340,506,282	22.4	325,869,495	21.0	14,636,787	4.5
	動力費	54,579,649	3.6	58,919,643	3.8	△ 4,339,994	△ 7.4
	薬品費	6,660,720	0.4	6,766,200	0.4	△ 105,480	△ 1.6
	減価償却費	731,020,397	48.1	723,876,910	46.7	7,143,487	1.0
	その他の営業費用	16,549,620	1.1	20,556,405	1.3	△ 4,006,785	△ 19.5
	2 営業外費用	207,093,853	13.7	223,911,608	14.5	△ 16,817,755	△ 7.5
	企業債利息	200,057,391	13.2	214,892,572	13.9	△ 14,835,181	△ 6.9
	一時借入金利息	0	0.0	0	0.0	0	—
	その他	7,036,462	0.5	9,019,036	0.6	△ 1,982,574	△ 22.0
	3 特別損失	4,559	0.0	63,343	0.0	△ 58,784	△ 92.8
	固定資産売却損	0	0.0	0	0.0	0	—
	災害による損失	0	0.0	0	0.0	0	—
過年度損益修正損	4,559	0.0	63,343	0.0	△ 58,784	△ 92.8	
その他特別損失	0	0.0	0	0.0	0	—	
支出計 (B)	1,520,095,648	100.0	1,549,615,372	100.0	△ 29,519,724	△ 1.9	
収支差引 (A)－(B)		131,543,663		110,635,926		20,907,737	18.9
累積欠損金 b		0		0			
不 良 債 務	流動資産 (ア)		1,259,125,105		1,296,713,579		
	うち未収金		151,003,333		197,594,502		
	流動負債 (イ)		787,910,380		768,324,791		
	うち一時借入金		0		0		
	うち未払金		27,716,533		36,606,138		
差引 (イ)－(ア) (C)		—		—			
累積欠損金比率 b/a×100		—		—			
不良債務比率 (C)/a×100		—		—			





## 資料2

### 水道事業会計貸借対照表比較表

(単位：円、%)

科目	令和元年度		平成30年度		比較	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
固定資産	18,378,808,697	93.6	18,469,827,270	93.4	△ 91,018,573	△ 0.5
有形固定資産	18,377,109,843	93.6	18,468,128,416	93.4	△ 91,018,573	△ 0.5
無形固定資産	1,698,854	0.0	1,698,854	0.0	0	0.0
流動資産	1,259,125,105	6.4	1,296,713,579	6.6	△ 37,588,474	△ 2.9
現金預金	1,083,664,096	5.5	1,075,922,625	5.5	7,741,471	0.7
未収金	151,003,333	0.8	197,594,502	1.0	△ 46,591,169	△ 23.6
貸倒引当金	△ 2,544,046	0.0	△ 1,805,792	0.0	△ 738,254	△ 40.9
貯蔵品	27,001,722	0.1	25,002,244	0.1	1,999,478	8.0
前払金	0	0.0	0	0.0	0	—
繰延勘定	0	0.0	0	0.0	0	—
控除対象外消費税額	0	0.0	0	0.0	0	—
資産合計	19,637,933,802	100.0	19,766,540,849	100.0	△ 128,607,047	△ 0.7
固定負債	11,792,427,330	60.0	11,982,556,027	60.6	△ 190,128,697	△ 1.6
企業債	11,792,427,330	60.0	11,982,556,027	60.6	△ 190,128,697	△ 1.6
流動負債	787,910,380	4.0	768,324,791	3.9	19,585,589	2.5
企業債	746,821,638	3.8	707,128,107	3.6	39,693,531	5.6
リース債務	0	0.0	0	0.0	0	—
未払金	27,716,533	0.1	22,814,338	0.1	4,902,195	21.5
未払い消費税及び 地方消費税	0	0.0	13,791,800	0.1	△ 13,791,800	皆減
前受金	0	0.0	896	0.0	△ 896	皆減
引当金	12,532,688	0.1	14,165,538	0.1	△ 1,632,850	△ 11.5
預り金	839,521	0.0	10,424,112	0.0	△ 9,584,591	△ 91.9
繰延収益	3,433,939,018	17.5	3,523,546,620	17.8	△ 89,607,602	△ 2.5
長期前受金	7,812,806,769	39.8	7,641,299,998	38.6	171,506,771	2.2
収益化累計額	△ 4,378,867,751	△ 22.3	△ 4,117,753,378	△ 20.8	△ 261,114,373	△ 6.3
負債合計	16,014,276,728	81.5	16,274,427,438	82.3	△ 260,150,710	△ 1.6
資本金	2,708,122,491	13.8	2,585,015,475	13.1	123,107,016	4.8
自己資本金	2,708,122,491	13.8	2,585,015,475	13.1	123,107,016	4.8
剰余金	915,534,583	4.7	907,097,936	4.6	8,436,647	0.9
資本剰余金	534,173,687	2.7	534,173,687	2.7	0	0.0
利益剰余金	381,360,896	2.0	372,924,249	1.9	8,436,647	2.3
資本合計	3,623,657,074	18.5	3,492,113,411	17.7	131,543,663	3.8
負債資本合計	19,637,933,802	100.0	19,766,540,849	100.0	△ 128,607,047	△ 0.7